

F SPORT PARTS (TRD)

MS343-53001/2/3

リヤディフューザー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS343-53001-A1	赤白ノグアガラスレーク (083)	IS200t F SPORT	GSE30	'13.05 ~	
MS343-53001-A2	ソニックオーツ (085)				
MS343-53001-B0	ソニックタニム (1J7)	IS250 F SPORT	GSE31		
MS343-53001-B2	ソニックタニム (1J7)				
MS343-53001-C0	ブラック (212)	IS350 F SPORT	AVE30		
MS343-53001-C2	グライフトブラック (223)				
MS343-53002-00	未塗装品 (プライマー処理品)	IS300h F SPORT	ASE30		
MS343-53003	共通品 (212)		AVE35		

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。

他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

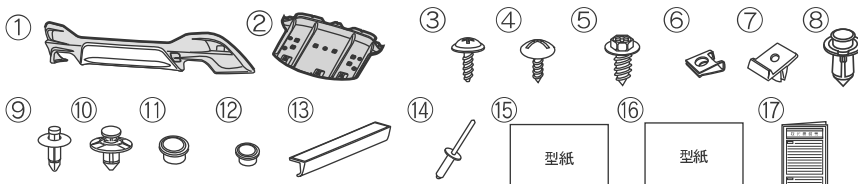
*本商品は別売りのスポーツマフラー(ガソリン車用:MS153-53002)もしくは(HV車用:MS153-53003/
MS153-53004)との同時装着が必須となります。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーカバー		1	
③	タッピングスクリュー		2	5×16
④	タッピングスクリュー		5	5×15
⑤	タッピングスクリュー		3	6×16
⑥	Jナット		7	
⑦	グロメット		3	
⑧	クリップ		4	φ10用
⑨	クリップ		2	φ6用
⑩	クリップ		2	φ8用
⑪	ホールプラグ		4	φ12用
⑫	ホールプラグ		4	φ8用
⑬	フロントエアロスパツ		2	L=200mm
⑭	リベット		6	
⑮	型紙		1	A3シール (RH用)
⑯	型紙		1	A3シール (LH用)
⑰	取付取扱要領書		1	本書

以下、MS343-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑱	モール		1	黒 L=2900mm
⑲	PACプライマー		1	K-500
⑳	フックカバー		1	未塗装品



以下、MS343-53002-00
(未塗装品セット)のみに同梱



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

Ⓢ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- Ⓢ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- Ⓢ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- Ⓢ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓢ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- Ⓢ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- Ⓢ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- Ⓢ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- Ⓢ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- Ⓢ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- Ⓢ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- Ⓢ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- Ⓢ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- Ⓢ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起きますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

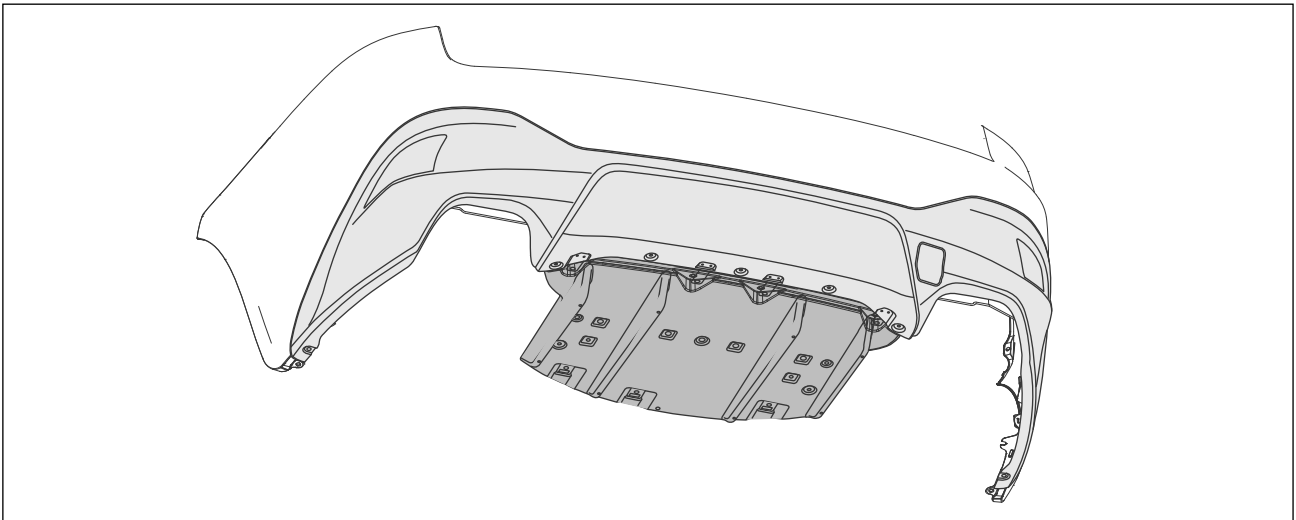
- Ⓢ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓢ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
2. 取付け上のご注意(作業者の方へ) 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
4. 取付け要領 4～16
5. 取付け後の確認・点検 16

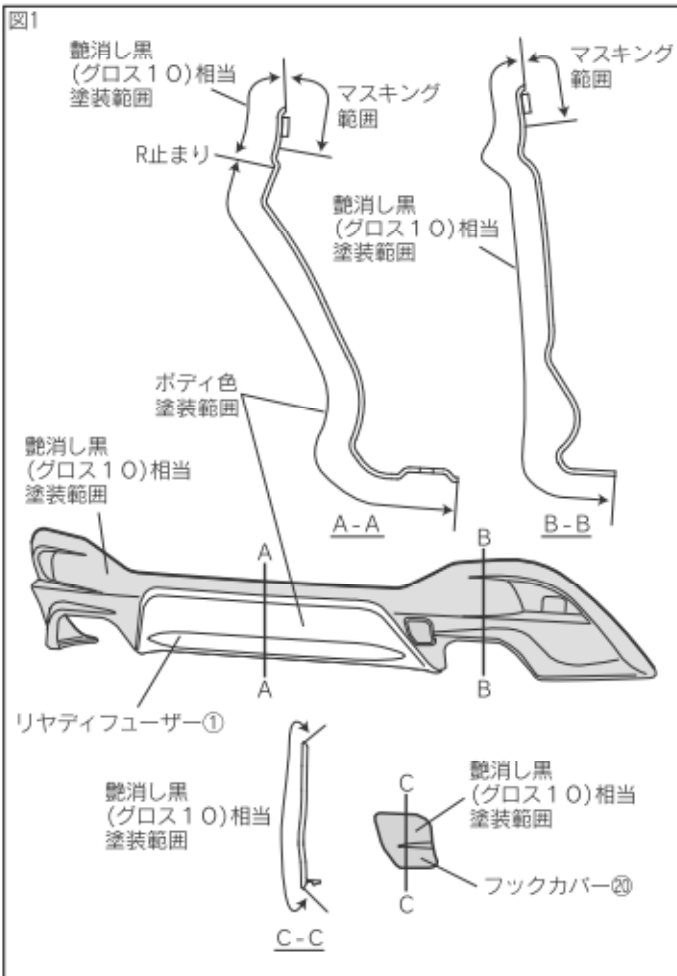
取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

取付構成図

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS343-53002-00)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。
 ※本取付・取扱要領書は、主にガソリン車を示しており、注記がなければHV車も同様の作業を行ってください。

□リヤディフューザーの塗装

- 図1のようにリヤディフューザー①とフックカバー②を塗装する。
- 図1のように車体色部分をマスクングして艶消し黒(グロス10相当)を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下「IPA」という)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼り付け面には、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスクングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

- 図2のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向について脱脂し、PACプライマーK-500⑨を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

📌アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

- 図2のようにリヤディフューザー①の意匠面からフックカバー②のストラップを通して取り付ける。

△注意：リヤディフューザー①への傷つきに注意してください。

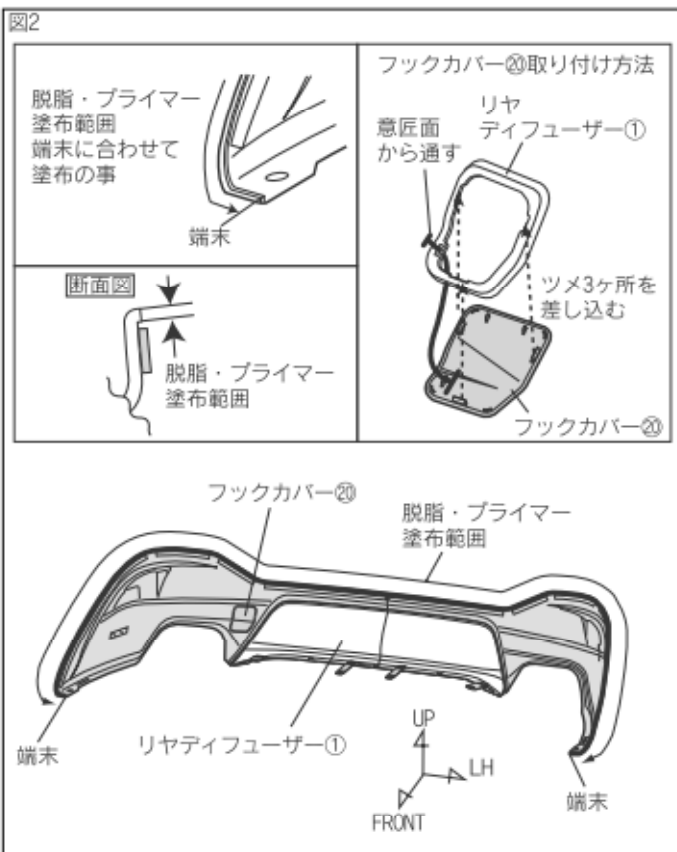
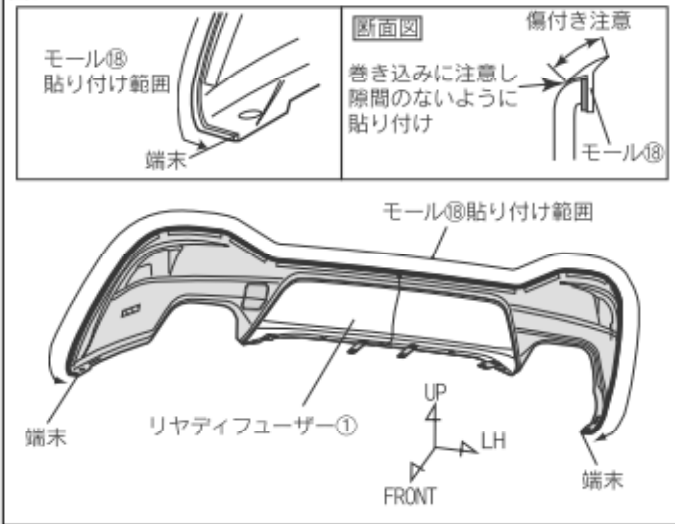


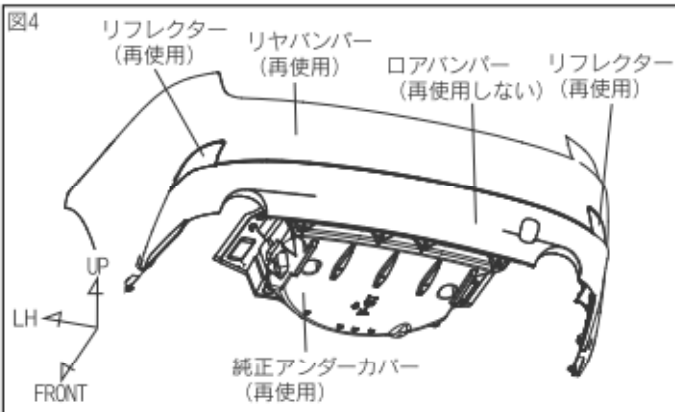
図3



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

- 図3のようにリヤディフューザー①に、モール®の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
モール®は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

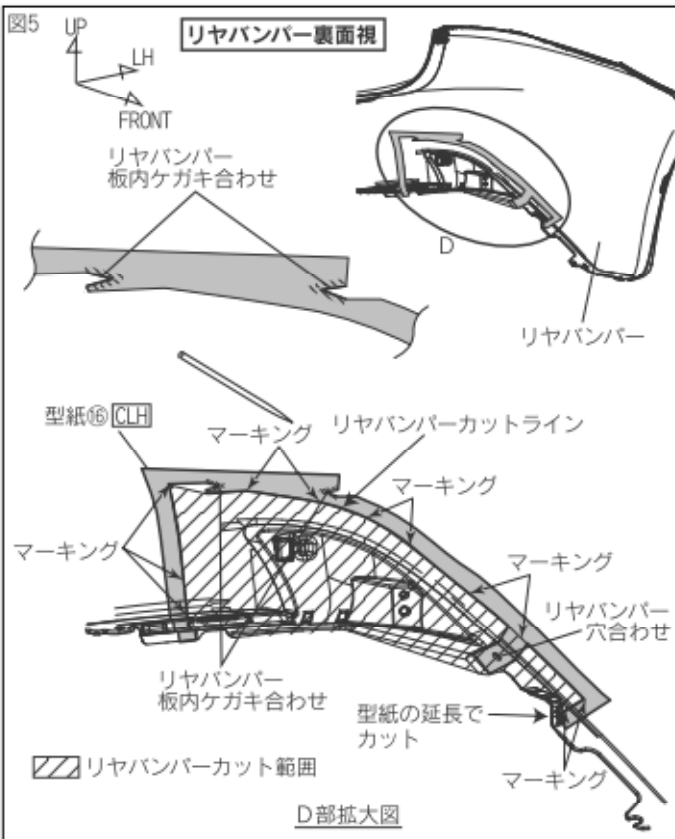


□リヤディフューザーの取付準備

- 車両修理書を参考にして、車両からリヤバンパー、ロアバンパー、リフレクター、純正アンダーカバーを取り外す。

△注意：取り外したリヤバンパー、純正アンダーカバー、リフレクターを取り付けていた小部品は再使用します。

△注意：取り外したロアバンパーとロアバンパーを取り付けていた小部品は再使用しません。



- 図5のように型紙®CLHを、台紙から剥がしリヤバンパーの板内ケガキに合わせて貼り付け、マーキングする。

- 型紙®CLHを剥がし、マーキング位置を線で結ぶようにケガキを入れ、ケガキラインに合わせてエアソー等で切り取ってから、切り口にできた断面のバリを取り除く。(左右各1箇所)

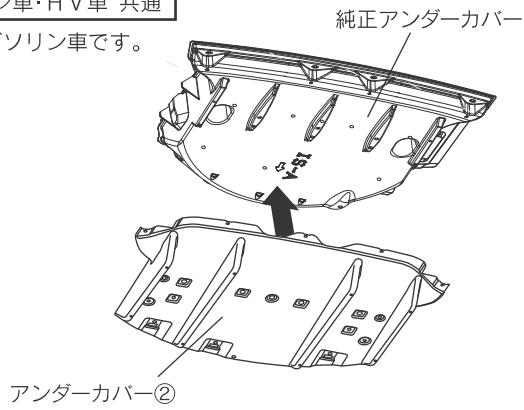
△注意：カットする際に、怪我に注意してください。又、リヤバンパーへの傷つきに注意してください。

△注意：バリを取り除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図6

ガソリン車・HV車 共通

※図はガソリン車です。

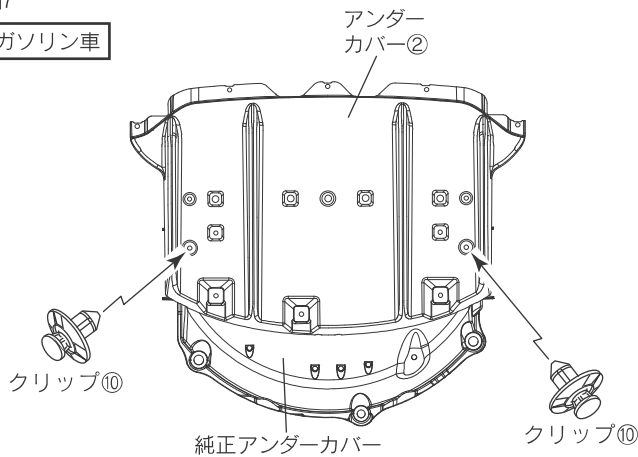


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

4. 図6のように純正アンダーカバーにアンダーカバー②を被せる。

図7

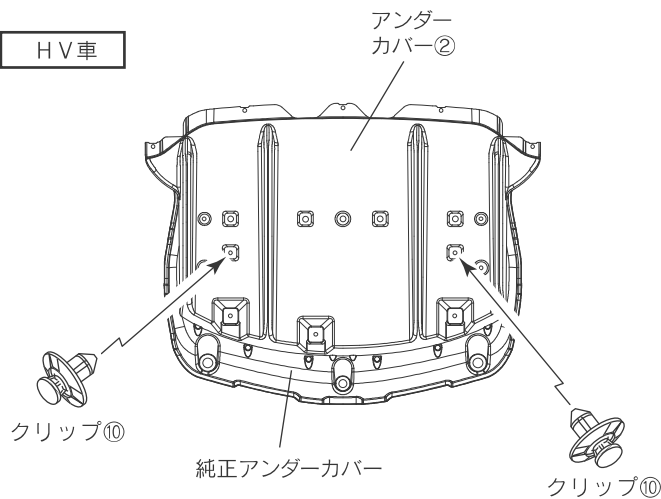
ガソリン車

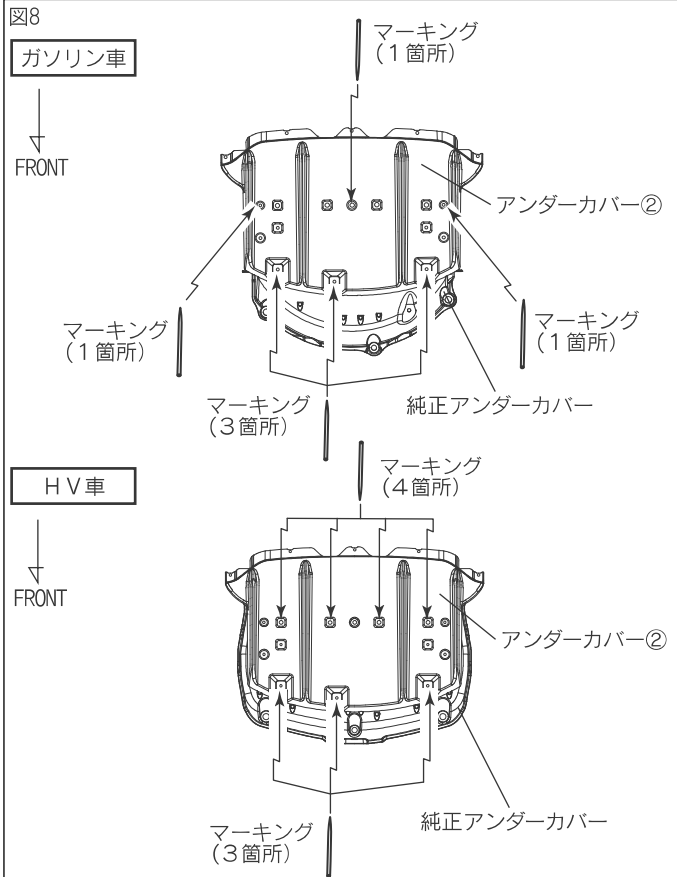


5. 図7のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑩で固定する。
(左右各1箇所)

アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違いますので注意してください。

HV車

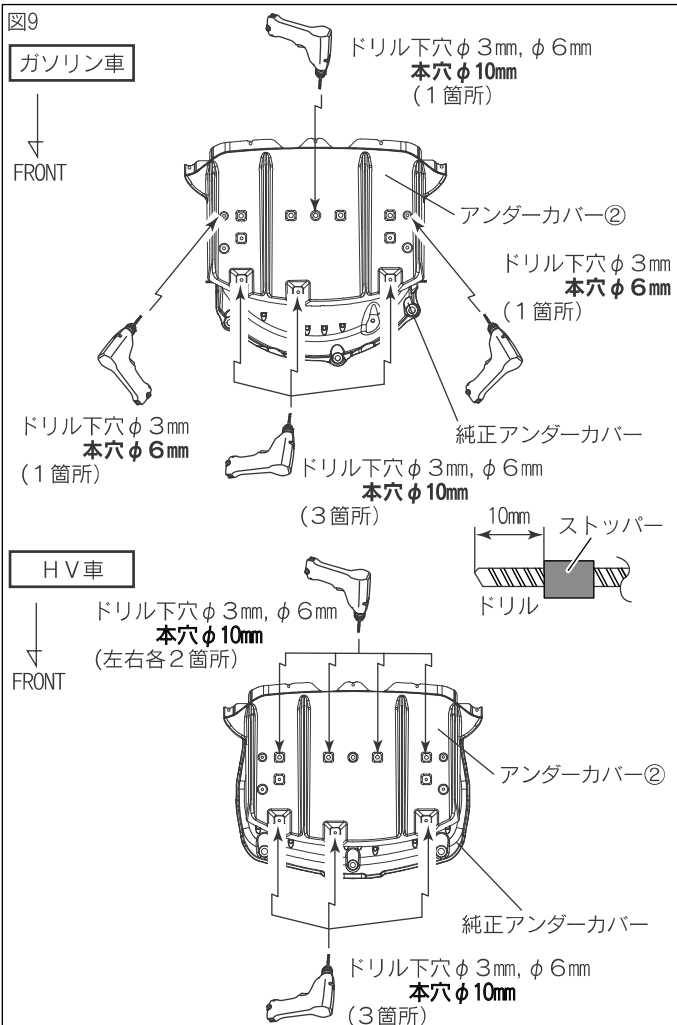




※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

6. 図8のようにアンダーカバー②の穴中心を基準に純正アンダーカバーをマーキングする。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違うので注意してください。



7. 図9のようにφ3mm、φ6mm、φ10mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mm、φ6mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

8. 図9のように下穴にφ6mm、φ10mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

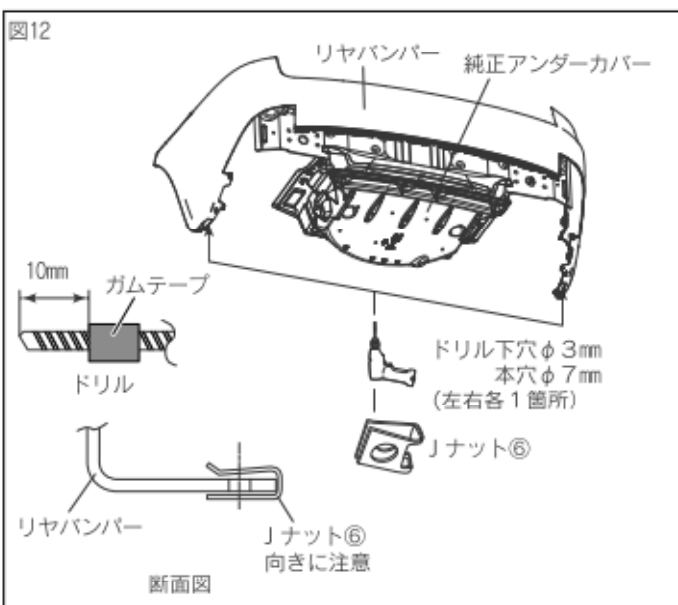
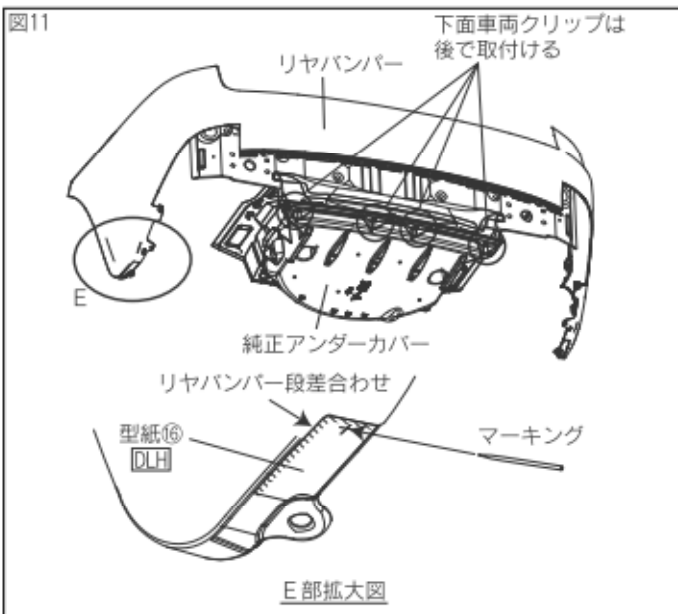
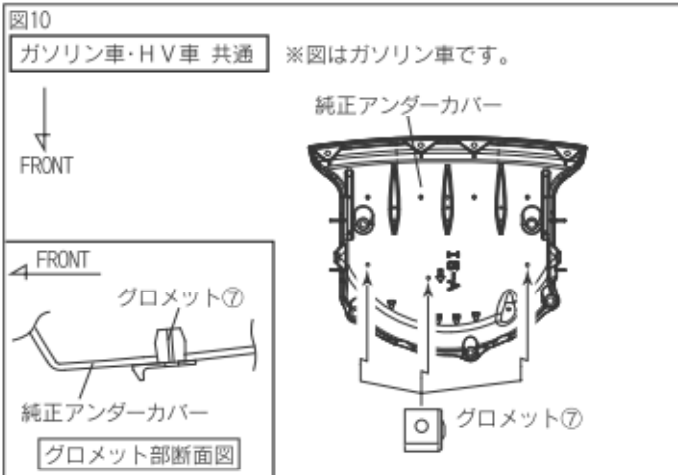
アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違うので注意してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

9. 穴あけ後、図7で取り付けしたクリップ⑩を外し、純正アンダーカバーからアンダーカバー②を取り外す。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示してあり、RH側も同様に行ってください。

10. 図10のように穴開けした純正アンダーカバーにグロメット⑦を向きに注意しながら差し込みます。
(3箇所)

11. 車両修理書を参考にして、リヤバンパーと穴あけし、グロメット⑦を差し込んだ純正アンダーカバーを車両に復元する。
その際に下面の車両クリップは取り付けない。

12. 図11のように型紙⑩DLHを台紙から剥がし、リヤバンパーの段差に合わせて貼り付け、マーキングする。
(左右各1箇所)

13. 型紙⑩DLHを剥がす。

14. 図12のようにφ3mm、φ7mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してリヤバンパーのマーキング位置に下穴をあけ、下穴にφ7mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各1箇所)

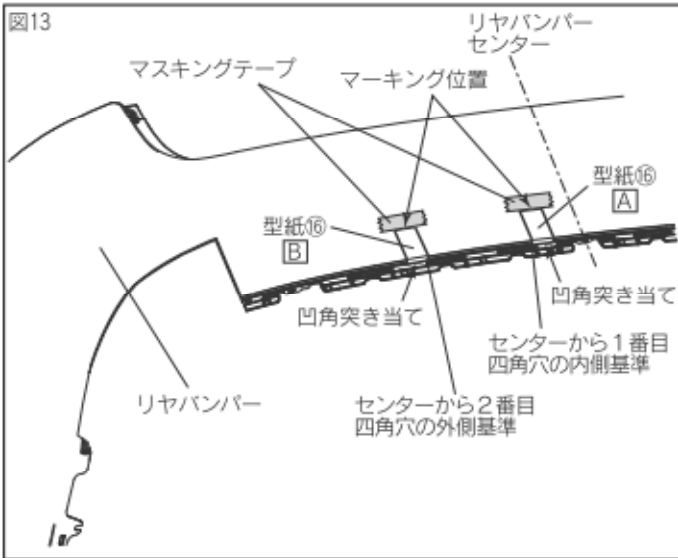
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

15. 図12のようにリヤバンパーの下面にあけた穴にJナット⑥を差し込む。
(左右各1箇所)

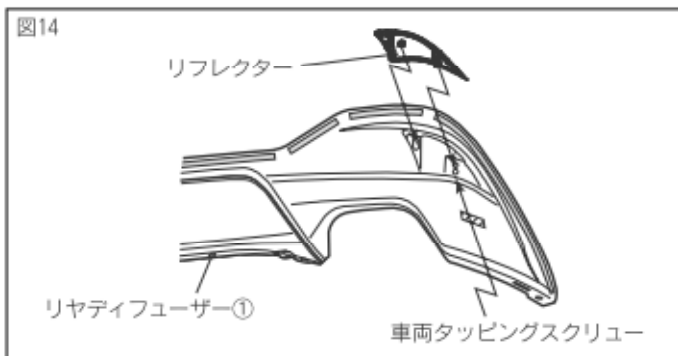
△注意：図12のようにJナット⑥の差し込む向きに注意してください。逆に取り付けるとタッピングスクリュー③が取り付けなくなります。



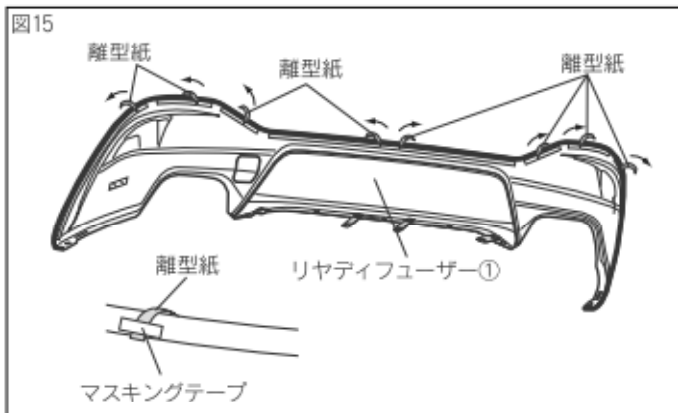
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

16. 図13のように型紙⑩[A]、[B]をリアバンパーに貼り付け、製品取り付け高さ位置をマスキングテープでマーキングする。
(左右各2箇所)

17. 型紙⑩[A]、[B]を剥がす。

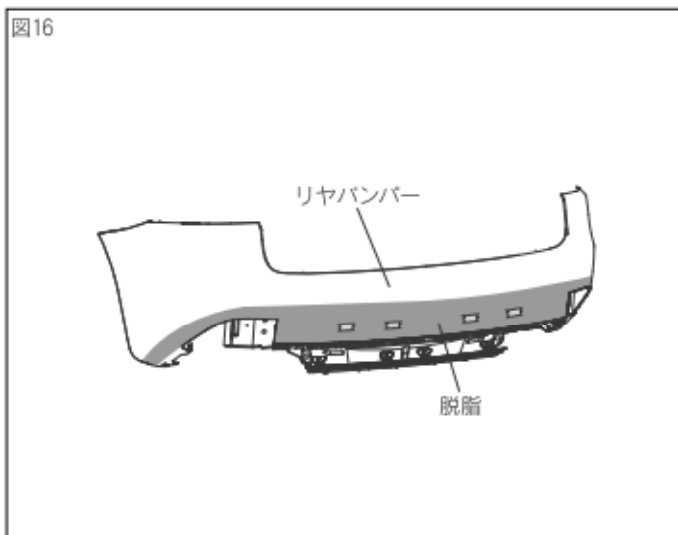


18. 図14のようにリアディフューザー①にリフレクターのツメをはめてから、車両タッピングスクリューで取り付ける。
(左右各1箇所)



19. リヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、図15のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各4箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

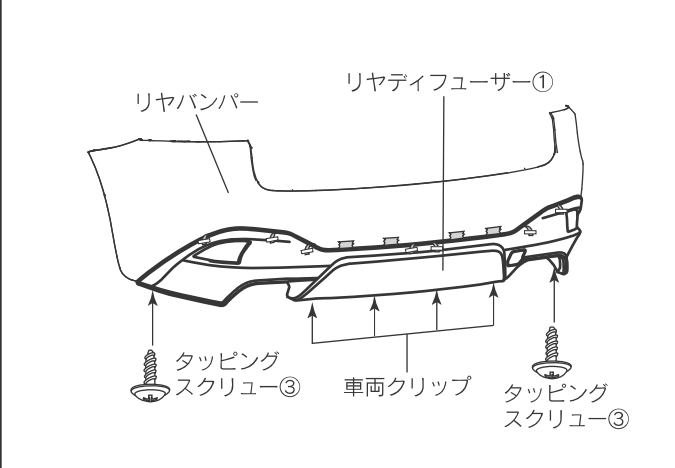


20. 図16のようにリアバンパーのリアディフューザー①取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図17

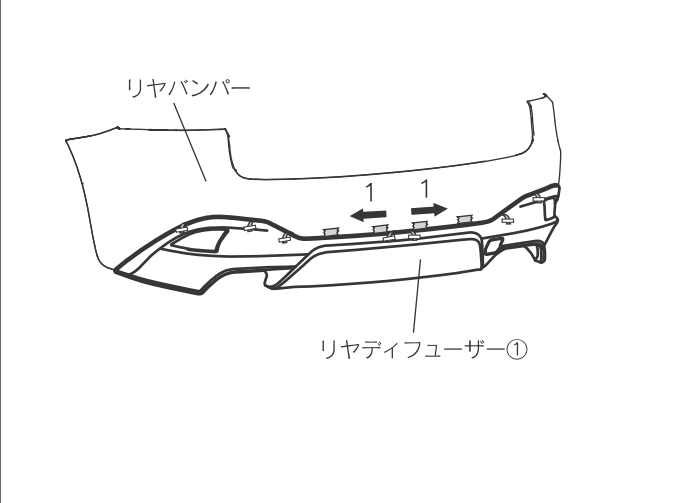


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□リヤディフューザーの取付要領

1. 図17のようにリヤディフューザー①をリヤバンパーにかぶせ、リヤディフューザー①に取り付いているブラケット部を、車両クリップで固定する。
(左右各2箇所)
2. 図17のようにリヤディフューザー①をタッピングスクリュー③で仮固定する。
(左右各1箇所)

図18



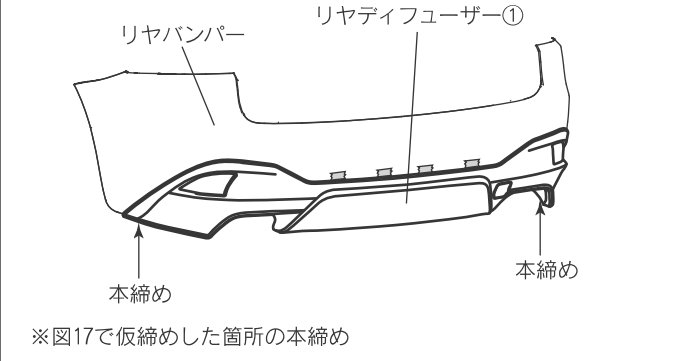
3. リヤディフューザー①とリヤバンパーに左右のズレ・スキが無いか確認し、高さ位置のマスキングテープに合わせて、センター側の両面テープの離型紙(左右各1箇所)を剥がしながら貼り付け、圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

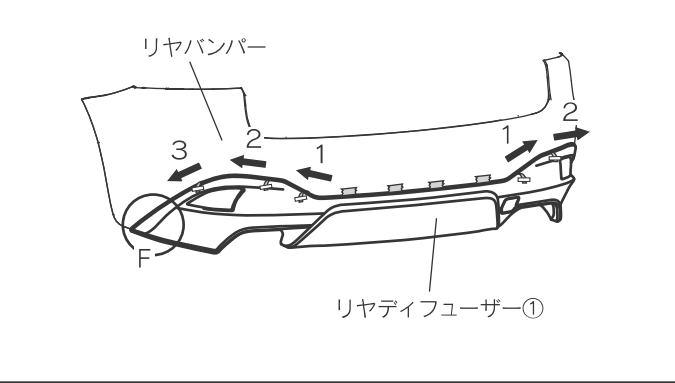
△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図19



4. 図19のように仮締めしておいたタッピングスクリュー③を本締めする。
(左右各1箇所)

図20

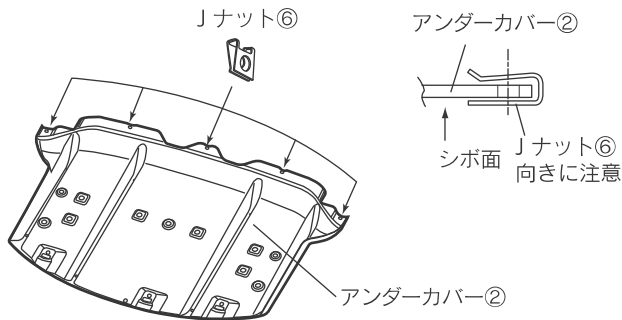


5. 図20のように両面テープの離型紙(左右各3箇所)を番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。F部は裏から手をまわして圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの離型紙を図20.で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

図21



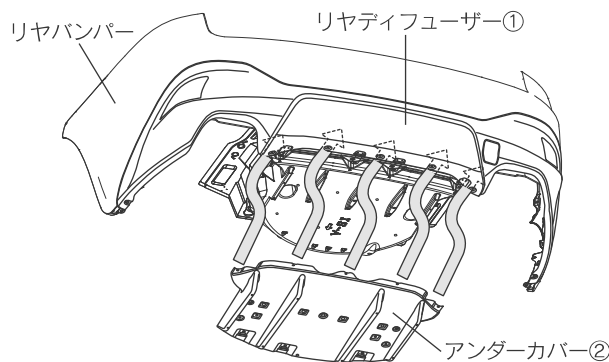
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示して
おり、RH側も同様に行ってください。

□アンダーカバーの取付準備

1. 図21のようにアンダーカバー②にJナット⑥をシボ面側が平らになるように差し込む。(5箇所)

△注意：図21のようにJナット⑥の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー④が取り付けなくなります。

図22

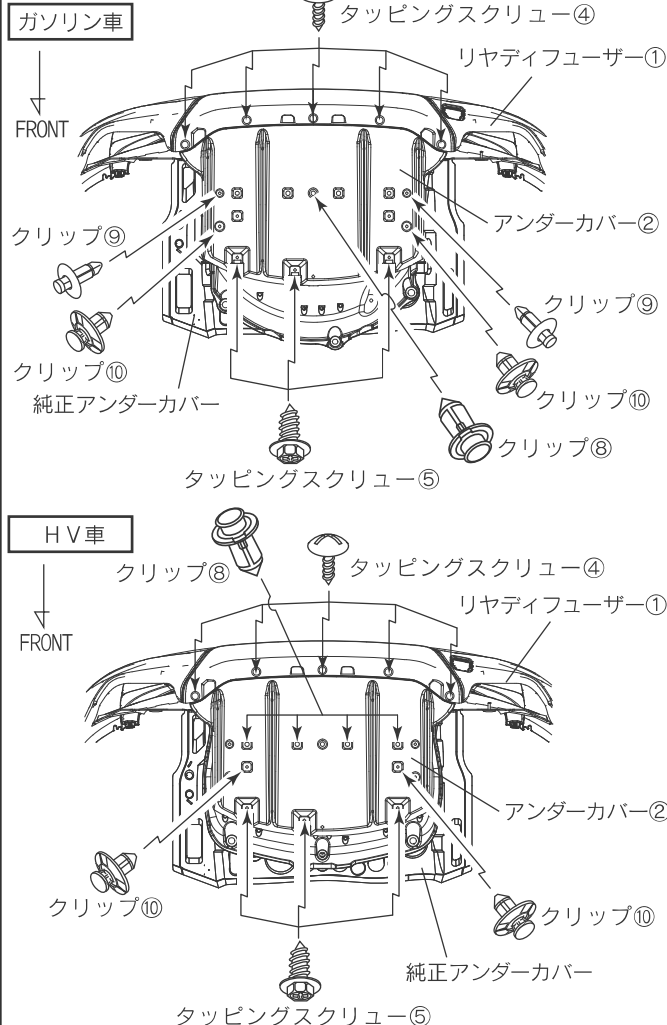


□アンダーカバーの取付要領

1. 図22を参考に、アンダーカバー②がリアディフューザー①の内側に入るように差し込む。

△注意：アンダーカバー②のJナット⑥は必ずリアディフューザー①の内側に入れてください。

図23



2. 図23のようにリアディフューザー①とアンダーカバー②を、タッピングスクリュー④で固定する。(5箇所)

3. 図23のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑩で固定する。(左右各1箇所)

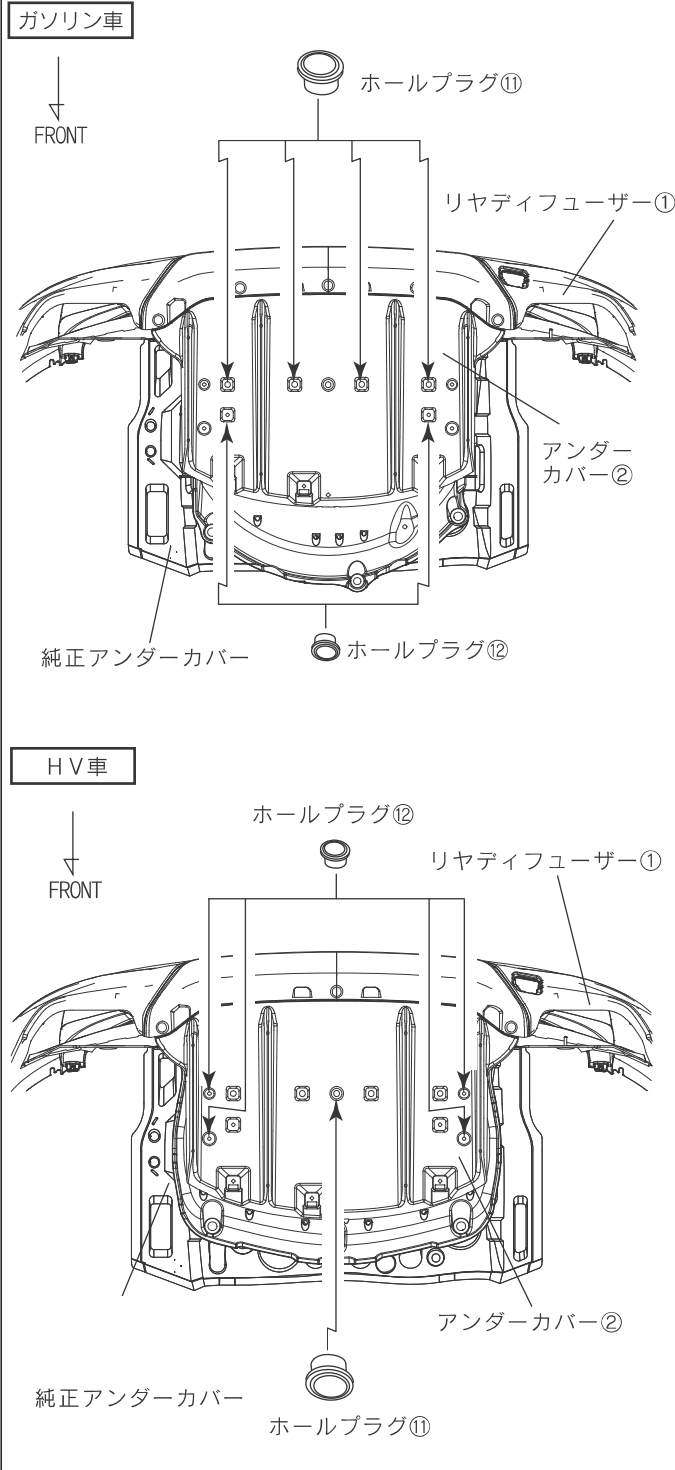
4. 図23のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、タッピングスクリュー⑤で固定する。(3箇所)

5. 図23のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑧(1箇所)とクリップ⑨(左右各1箇所)で固定する。**(ガソリン車のみ)**

6. 図23のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑧(左右各2箇所)で固定する。**(HV車のみ)**

👉 アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違うので注意してください。

図24



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

7. 図24のようにアンダーカバー②の使用しない穴を、ホールプラグ①(左右各2箇所)、ホールプラグ②(左右各1箇所)でふさぐ。
(ガソリン車のみ)

8. 図24のようにアンダーカバー②の使用しない穴を、ホールプラグ①(1箇所)、ホールプラグ②(左右各2箇所)でふさぐ。
(HV車のみ)

アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違いますので注意してください。

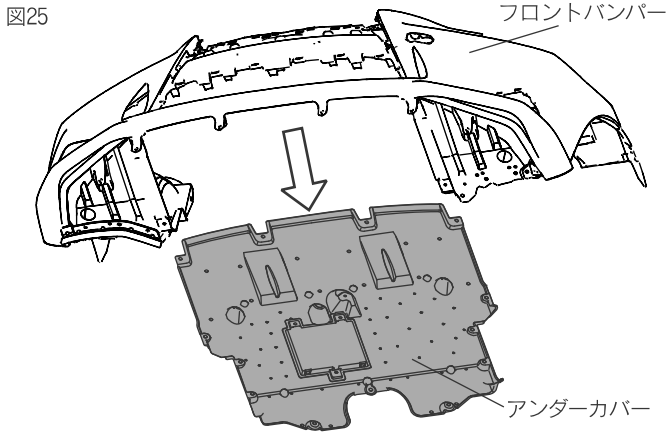
ガソリン車の場合、以下の部品が余ります。

⑧ × 3 ⑫ × 2

HV車の場合、以下の部品が余ります。

⑨ × 2 ⑪ × 3

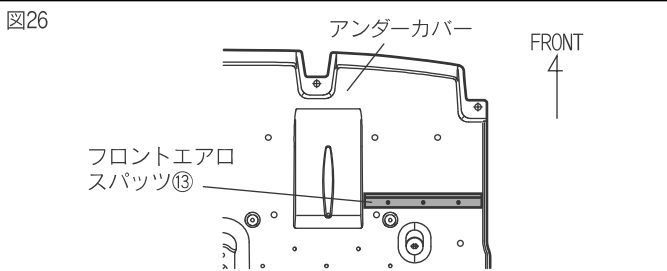
13~14ページは、'13.5月~'16.10月までの車に適合します。'16.10月以降の車は15ページ目から作業してください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

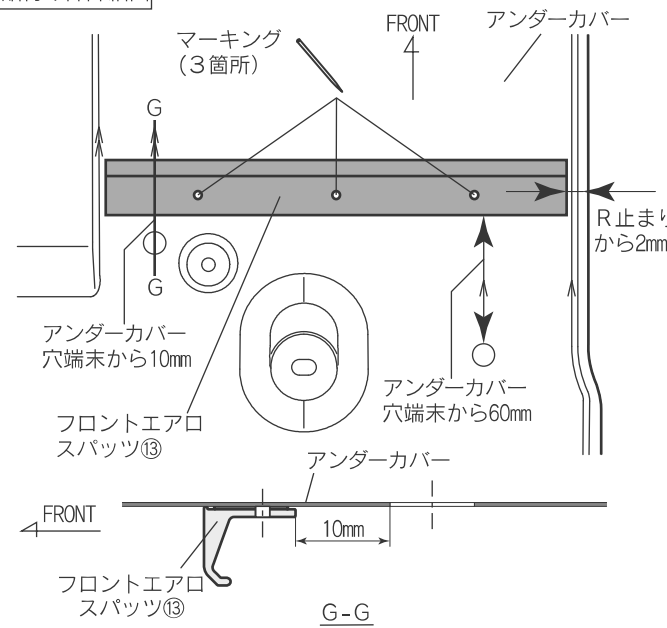
□フロントエアロスパッツ取付

1. 車両修理書を参考にして、車両からアンダーカバーを取り外す。

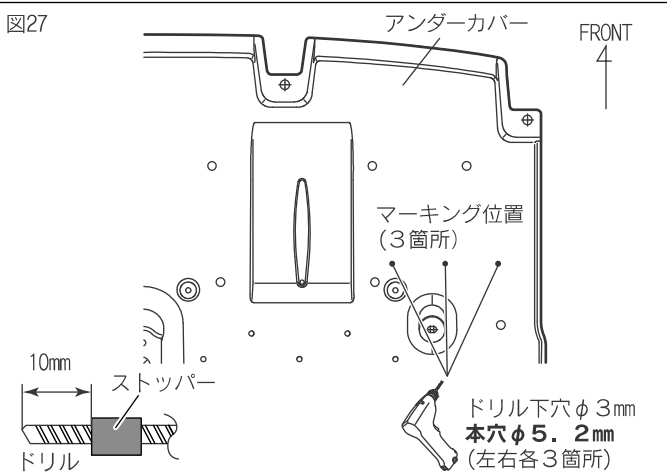


2. 図26を参考にアンダーカバーにフロントエアロスパッツ⑬を仮当てし、穴位置をマーキングする。(左右各3箇所)

貼付け部詳細図



3. 図27のようにφ3mm、φ5.2mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各3箇所)

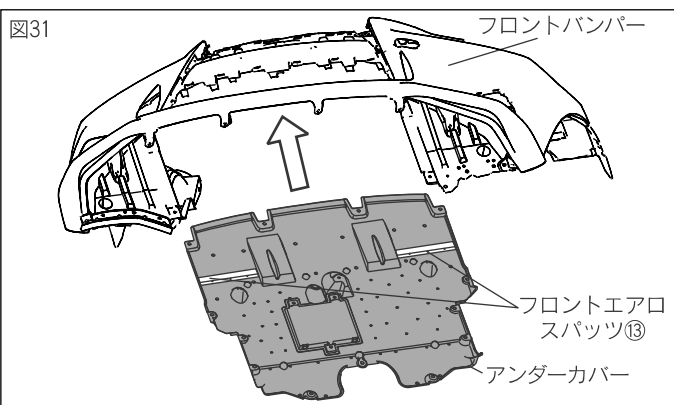
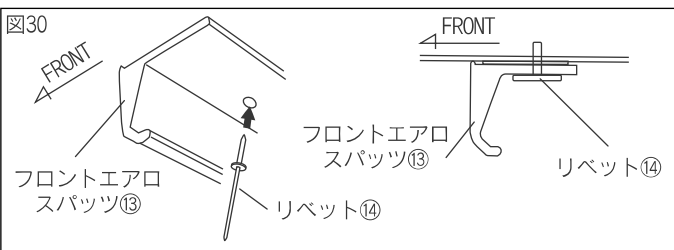
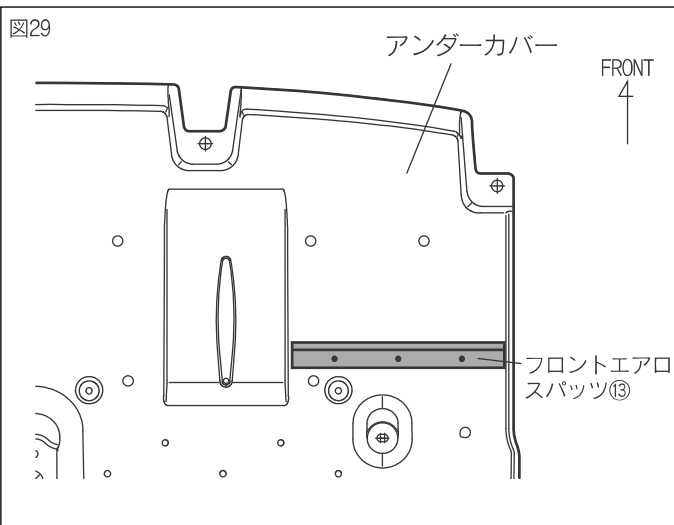
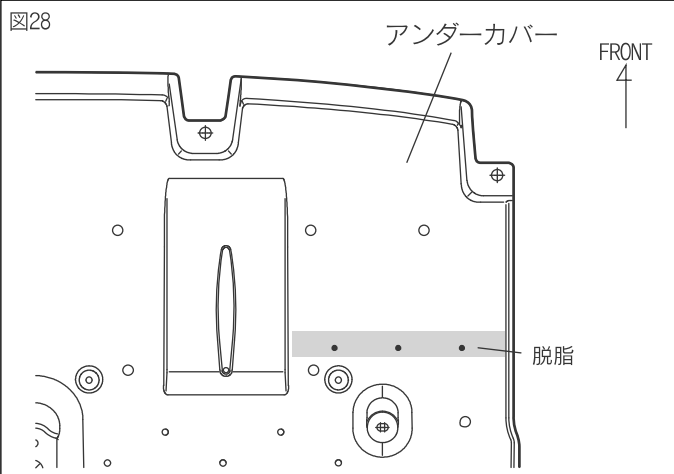


4. 図27のように下穴にφ5.2mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各3箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

5. 図28のようにアンダーカバーのフロントエアロスパッツ⑬取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑯を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

🔧アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

6. 図29を参考に、図26のようにアンダーカバーにあけた穴にフロントエアロスパッツ⑬合わせ、位置ズレが無いかを確認し、フロントエアロスパッツ⑬の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

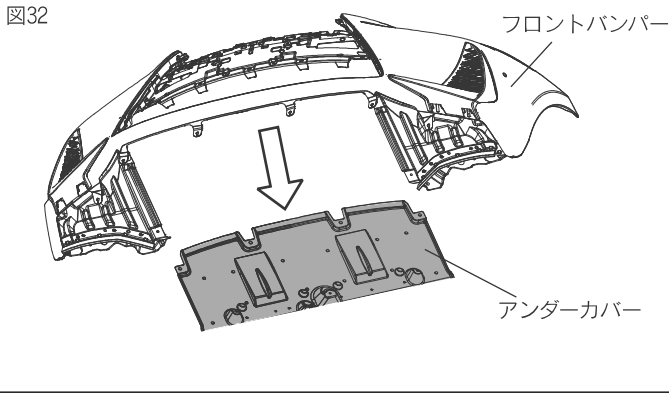
△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

7. 図30のように、アンダーカバーとフロントエアロスパッツ⑬の穴にリベット⑭を差し込み固定する。

8. 車両修理書を参考にして、アンダーカバーを車両に復元する。

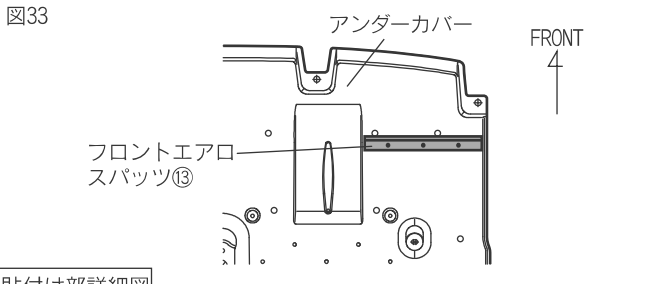
'16. 10月以降の車に適合。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

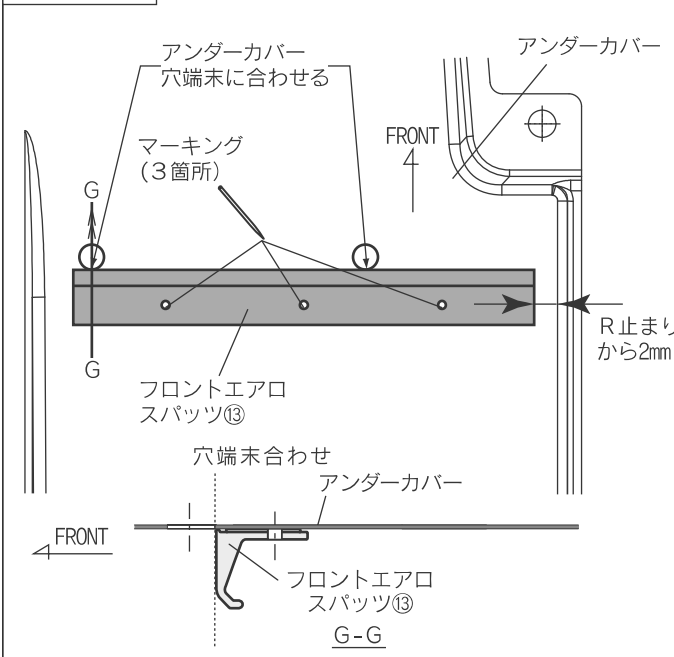
□フロントエアロスパッツ取付

1. 車両修理書を参考にして、車両からアンダーカバーを取り外す。

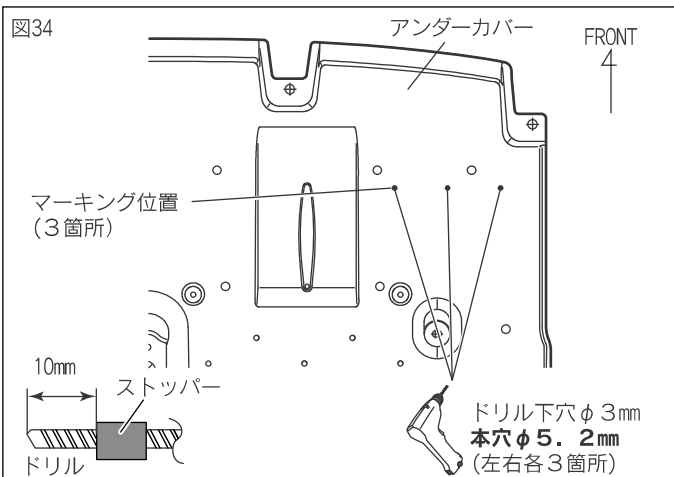


2. 図33を参考にアンダーカバーにフロントエアロスパッツ⑬を仮当てし、穴位置をマーキングする。(左右各3箇所)

貼付け部詳細図



3. 図34のようにφ3mm、φ5.2mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各3箇所)

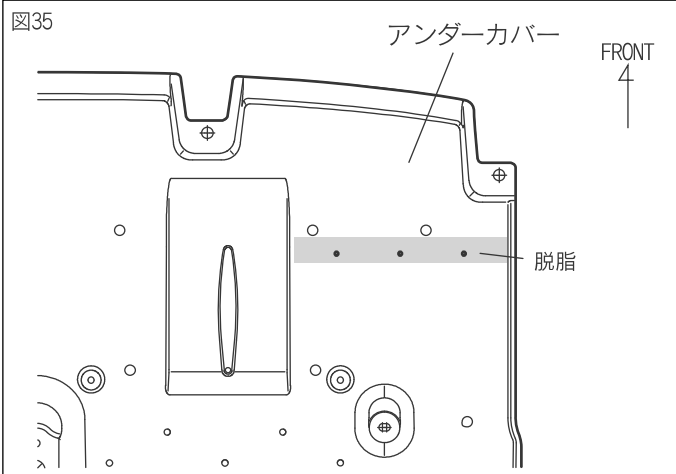


4. 図34のように下穴にφ5.2mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各3箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

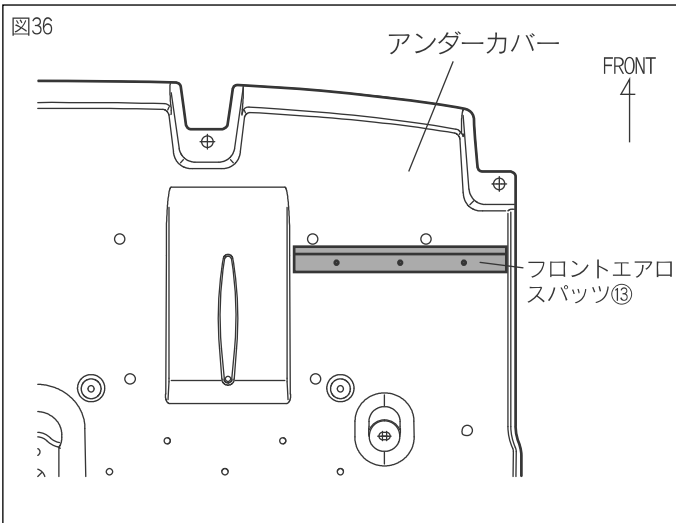


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

5. 図35のようにアンダーカバーのフロントエアロスパッツ⑬取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑯を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

🔧アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

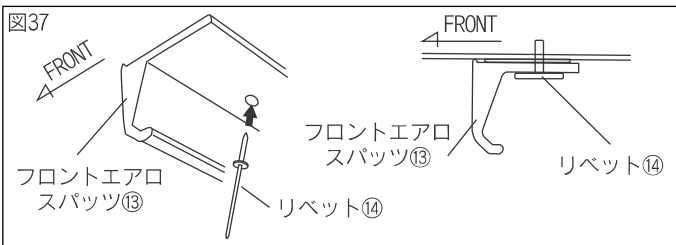


6. 図36を参考に、図33のようにアンダーカバーにあけた穴にフロントエアロスパッツ⑬合わせ、位置ズレが無いかを確認し、フロントエアロスパッツ⑬の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

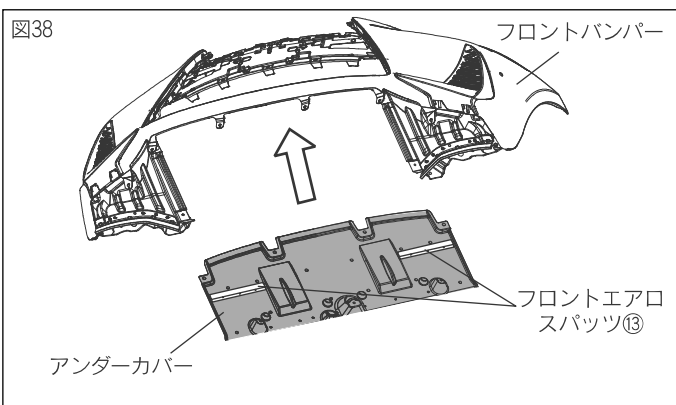
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



7. 図37のように、アンダーカバーとフロントエアロスパッツ⑬の穴にリベット⑭を差し込み固定する。



8. 車両修理書を参考にして、アンダーカバーを車両に復元する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザーとアンダーカバーをタッピングスクリュー・車両ビス・ボルト・クリップにて、フロントエアロスパッツをリベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー、アンダーカバー、フロントエアロスパッツ及び車両部品に傷を付けていないか点検する。